

稲グリ新聞

〈発行〉
早大グリーンクラブOB会
稲門グリーンクラブ

〈編集〉
加藤晴生
須原信二郎
佐々木豊

160 新宿区百人町3-8-11
須原方 ☎03(360)3336
(毎月1回発行)

「定演」基本計画を決定！

入場料S席三〇〇〇円を新設

幹事会

第三回目の稲グリ幹事会が三月二十六日(土)夜、石原事務所で開催され、次の事項が討議された。

- 一、第二十二回「定期演奏会」
- 二、大阪稲グリ「上海演奏旅行」
- 三、第七回「東西OB四連」
- 四、その他

一については、支出見積り、それに基づく収入予算、演奏スケジュール、役割分担、作業スケジュール等の検討が行われ、基本計画が決定された。(第二面参照)

二については、東京稲グリとしても出来る限りの協力を惜しまないという事で、「稲グリ新聞」他による参加の呼びかけを開始することとなった。

三については、前々回(昭和六十年・第五回)担当のワグネルOBのマネージング資料を参考に準備を進めることを確認、早目に在京四団のマネージャー会等の開催を計画することとした。(幹事出席十名)

第22回定期演奏会までの活動日程

4月12日(火)	東混練習場	18:30~21:00	子供の歌 ☆
19日(火)	"	"	ロシア民謡 ◎
21日(木)	プレイス24	"	世界の歌 ◎
26日(火)	東混練習場	"	ロシア民謡 ◎
5月1日(日)	プレイス24	13:00~16:00	世界の歌 ◎
3日(祝)	"	"	子供の歌 ☆
7日(土)	奉仕園	14:00~19:00	ロシア民謡 ◎
10日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡 ◎
14日(土)	プレイス24	18:00~21:00	世界の歌 ◎
17日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡 ◎
19日(木)	プレイス24	"	子供の歌 ☆
21日(土)~22日(日)	現役「東京六連」		
24日(火)	東混練習場	18:30~21:00	月下の一群

28日(土)~29日(日) 合宿 ロシア民謡中心 ※

31日(火)	東混練習場	18:30~21:00	子供の歌 ☆
6月5日(日)	プレイス24	13:30~15:30	ロシア民謡 ◎
		16:00~18:00	世界の歌 ◎
7日(火)	東混練習場	18:30~21:00	月下の一群
14日(火)	"	"	月下の一群
	現役「早慶交歓演奏会」ゆうぼうとミニ合宿		
18日(土)	奉仕園	14:00~21:00	ロシア民謡 ◎
19日(日)	現役「東西四連」	大阪フェス	世界の歌 ◎
21日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡 ◎
24日(金)	プレイス24	"	世界の歌 ◎
27日(月)	"	"	ロシア民謡 ◎
28日(火)	"	"	ロシア民謡 ◎
	(バラライカ楽団と音合せ)		
30日(木)	"	"	ロシア民謡 ◎
7月2日(土)	大橋区民会館	13:30~16:00	世界の歌 ◎
	ワグネルOB演奏会	18時	都市センターH
3日(日)	奉仕園	14:00~17:00	子供の歌 ☆
5日(火)	東混練習場	18:30~21:00	月下の一群
6日(水)	プレイス24	"	ロシア民謡 ◎
	(バラライカ)		
8日(金)	"	"	ロシア民謡 ◎

9日(土) 第22回・稲グリ定期演奏会 サントリー大ホール

◎=桜楓、桜友と合同練習
☆=磯部徹さん(17)参加
※=指揮 堀俊輔さん(50)、ソロ 岡村喬生さん(29)参加
■=追加練習、練習場注意

プレイス24 = 地下鉄銀座線・田原町
歩5分・田中玄昌さん(54)
のお世話(芸花舎)
☎03-842-1370

奮ってご参加を!!

上海で圧倒的な「都の西北」を轟かせよう

田村マネが上京

大阪稲グリ「上海演奏旅行」のこと

四月二日(土)午後、大阪稲グリ「上海演奏旅行」チーフマネの田村謙之助さん(三九)が上京、加藤幹事長ら東京稲グリの人々と九月の同旅行についての話し合いが持たれた。

田村チーフマネによれば、「大阪としては、実施計画も確定し、本格的な人集めにかかっている。二十人参加は固いが、東京からも同じ位の参加者を得たい。この四月中に参加人員の確定をしたい。また早大西原春夫総長の「お墨付」も貰える見込みである。一としており、稲グリ幹事会もこれを承認した。

是非大勢の参加を得て成功させたい。

「計画概要」

立案 昭和六十三年三月十四日
目的 合唱を通じての日中文化交流と友好の確認

日程
九月十五日(木・祝) 十一時 JALにて大阪発
十二月二十五分上海着
夜 校友関係パーティー(上海泊)
十六日(金) 午前 観光
午後 ステージ練習

十七日(土) 夜 合同練習
友好コンサート(上海泊)

朝 上海発 杭州又は蘇州へ観光小旅行(観光地泊)

十八日(日) 午前 観光地から上海へ移動
十四時二十分 JALにて上海発
十七時二十分 大阪着

ステージ(案)
I 邦人作曲家による
「秋のピエロ」 富山山第
「ふるさと」 海鷗
「鳥が」
II 中国の合唱団ステージ
III ポップス
「アカシヤの径」 黒人霊歌
「オブラデイ・オブラタ」 他
IV 中国の歌二曲程度

費用 一人 十八万円(一切)
但し、東京往復は別費用
大阪 田村チーフマネ
東京 小俣マネ(三八)
以上

アンコール用「小さい秋みつけた」
「夏の思い出」
「雪の降る街を」

出席状況

	3/15	22	29	4/5	9
T ₁	11	9	10	10	8
T ₂	11	9	11	12	7
B ₁	15	8	7	7	8
B ₂	17	15	12	17	9
	54	41	40	46	32

◎=混声合同

定演総収入目標四五〇万円に決定

チケット販売、広告取りに頑張ろう！

第一面記載の幹事会で定演について次のことが決定された。

支出見積り(概算)

過去の事例から次の支出が見込まれる。

- 会場費関係 一六〇万円
- 出演料 東京バラライカ アンサンブル他 五十一万円
- 演奏曲編曲料 弁当代、著作権料 アルバイト、花東写真、マネージ費 一三万円
- 雑費 ほか 五〇万円
- 打上げ補助 二〇万円
- ネクタイ購入費 一三万円

- 臨時練習場費 二〇万円
- 新聞広告費 一〇万円
- プロ等印刷費 八〇万円
- (計) 四一七万円

チケット料金設定及び収入予算

席	担当	永井秀夫(四二)
S席	三〇〇〇円	四九八席
A席	二五〇〇円	八六二席
B席	一五〇〇円	二一五五〇〇円
(計)	二〇〇六席	八四万三〇〇〇円
		四四九万二〇〇〇円

《第22回》稲門グリークラブ定期演奏会

(1988.7.9 サントリー大ホール)

演奏曲一覧

I フランスの詩による男声合唱曲集

「月下の一群」堀口大学訳詩 南弘明作曲

指揮=山本正洋(57) ピアノ伴奏=阿部滋(57)

- 1 小曲 4 海よ
- 2 輪踊り 5 秋の歌
- 3 人の言うことを信じるな

II 混声合唱による

「世界の歌」玉田元康(ボニー)編曲

指揮=山本健二(31) ピアノ伴奏=佐藤浩子

賛助出演=桜楓合唱団・桜友女声合唱団

- 1 ます (F. Schubert)
- 2 ともしび (ロシア民謡)
- 3 フニクリ フニクラ (L. Denza)
- 4 ロンドンデリーの歌 (アイルランド民謡)
- 5 スワニー (George Gershwin)
- 6 荒城の月 (滝廉太郎)

III 男声合唱による

「子供の歌」磯部 倅=作曲

指揮=磯部 倅(17) ピアノ伴奏=江藤純子

- 1 いちじく (小林純一詩)
- 2 秋のにおい (中村和子詩)
- 3 月夜 (高田敏夫詩)
- 4 大ずもう (小林純一詩)
- 5 びわ (まどみちお詩)
- 6 空とぶ手紙 (鶴岡千代子詩)

IV 「ロシア民謡集」

指揮=堀 俊輔(50) 独唱=岡村喬生(29)

伴奏=東京バラライカ・アンサンブル

- 1 12人の盗賊 5 コサックの子守歌
- 2 ステンカラージン 6 ボルガの船歌
- 3 いわお 7 けわしい丘の上
- 4 小川に沿って (曲順未定)

演奏マネージャー 土屋 信吾(44)

プログラム広告収入予算

担当=頼原信二郎(四二)

目録	表4	1頁	一〇〇万円以上
料金	中面	1頁	一五万円
		1/2頁	一〇万円
		1/4頁	五万円
			三万円

役割分担

総括=加藤幹事長(三七)
 会計=石原会計(三五)
 ステージマネ=土屋演奏マネ

混声ステージ、合同練習始まる

結団会で広がる乾杯の輪！

四月九日(土)、いよいよ混声ステージの練習が始まった。賛助出演を頂く桜楓合唱団、桜友女声合唱団の皆さんと今年初顔合せという事で、華やかな中にも緊張

- サブマネ=高野(五五)
- マネージャー=頼原チーフマネ
- 印刷物=安斎(四七)
- チケット=永井
- サブT1=清水(三八)
- T2=加藤(五六)
- B1=長岡(三八)
- B2=小久保(五〇)
- フロント(受付)=松島(四二)
- サブ=現役 十五名
- 場内=佐々木(五九)

合宿

- 日時 五月二十八日(土) / 二十九日(日)
- 場所 河口湖
- 一 ロッソ・コニシ
- 山梨県南都留郡河口湖町
- 木立白木四三九一

- 費用 ①全参加 一〇〇〇円
- ②夜より(夕食なし) 七〇〇円
- ③朝より(朝食なし) 三〇〇円

- 携帯品 楽譜、着替え、洗面具
- 持病の薬 特に喉の消毒薬

■担当 佐藤公俊(四八) 案内書は別途練習場で

現役グリー近況

担当マネ 佐々木豊(五九)

現役グリーは今、桜満開のキャンパスで新入部員勧誘活動の大詰めを迎えている。四月八日のクラブ説明会(カルテット大会を含む)には約五十名の新入生が奉仕園に押しかけたという事なので、十一日の新歓コンパやそれに続く新入生練習で大切に育てていきたいというところだろう。

ゴルフスコア用鉛筆募集!

定演アンケート用に使います

今度の定演でお客様からアンケートを取ろうと思っております。つきましては、お手持ちのゴルフスコア用の鉛筆などをご贈下下さい。練習場でお待ちしています。

上級生練習は、例年だと六連が中心の場合によつては四連の練習も加わる時期であるが、今年は今月十五日から二泊三日の予定で福岡、佐賀にて地元稲門会の主催による大隈侯生誕百五十年記念の特ステがあるため、目下この練習に重点をおいている。当日は大先輩の岡村喬生氏(二九)との山田耕伴作品や愛唱歌を披露する予定。現役諸君、ガンバレ!OBがついてるぞ!

新しい発展を目指して!

各代のヒーロー大いに語る——盛り上がった指揮者会

全国宴会協会調査役 篠松次郎(五四)

三月十九日(土)午後六時半を過ぎた頃から、赤坂の町にただ者ではない目付きをした紳士が一人また一人と現れ、そのいづれもが稲門倶楽部の客となった。一時代



のヒーロー——こと歴代指揮者が一堂に会したのである。この会は、①稲グリ活動と向きあうための積極的な参加依頼、②現役・OB共通愛唱歌集作成の協力依頼等々を目的として初めて開催されたが、当日は指揮者十六名を含む三十六名もの人が集まり、会場は熱気に包まれた。出席者からは意見、感想、提案、思い出話、近況報告等さまざまな言葉が聞かれた。いくつかを紹介してみよう。

「多忙のため音楽から遠ざかっていたが、これを機に何らかの働きが出来ればと思う。」三品さん(五三)、「僕らの時は学園紛争のため送別演奏会が開けなかつた。」丸山さん(四二)、「今でも当時のハイモニーが耳に残っている。」山崎さん(二六)、「今来ているは惑星直列よりも珍しい、グリ史上初の歴代指揮者四人同時卒業の快挙が達成される見

私も元気でやっています

——青柳 修さん(三四・指揮者)からのお便り

お便り拝見しました。稲門グリクラブのご活躍には敬意を表しております。私こと現在(株)庄内銀行の検査部の次長で、昨年九月、北支店長から現職についておられます。地元では鶴岡土曜会混合合唱団(三十五年間続いている)の顧問をやっております。五十一年の西田君も現在地元の高校で教員をやっております。酒田市勤務で仲々会えません。

今年七月早稲田グリーが、鶴岡酒田の公演開催の予定になっており、今から楽しみにしております。そのうち鶴岡で男声合唱団をつくらうと話し合っているところですが、何せ勤務の関係で時間がかかりそうです。元気でやっています。皆さんによろしく。愛唱歌集が出来ましたらぜひ送って下さい。

込だ。「早武さん(現役四年)、「新メンバー、特に若い年代にもっと参加してほしい。」「耕納さん(三七)他多数」、「大阪稲グリ」の上海公演に是非協力をお願いします。」「坪井秀夫大阪稲グリ永世会長(二八)」、「指揮者という縦の糸によりOB会の組織強化を図りたい。」辻田さん(三七)、「いとおらかさでクラブを盛り上げて頂きたい。」横尾さん(三七)、「やがて新旧世代による『ウ・ボイ』の歌詞論争等、益々盛り上がる中、福井会長(二九)から愛唱歌編集委員として既に委員長職にあつた榎木さん(二六)のほか、中野さん(副委員長、二七)、耕納さん(三七)、川元さん(五六)、早武さん(現役四年)が指名され、全会一致で承認された。

一方、出席者全員でこの日歌った愛唱歌「応援歌」——当初懸念された指揮棒の奪い合いはなく、幹事は胸を撫で下ろしていた。幹事さすがに歴代指揮者の音楽性の高さゆえか、いつもより良い音がしたとの専ら評判。そんなこんなでこの会も成功裡に終わり、幹事の胸中には次なる縦糸・横糸・斜め糸の役目を負うイベントの企画・開催の夢が広がるのであった。

《出席者一覽》	☆ 指揮者
二四 卒	坪井(俊)☆
二六	山崎☆、榎木
二七	中野☆、玉崎☆
二八	坪井(秀)☆
二九	福井(会長)
三二	秋元
三三	田中(弘)
三四	石原
三五	奈良原
三六	耕納☆、遠藤、辻田、
三七	加藤(幹事長)、横尾
三八	加藤(治)☆
四二	丸山☆、中嶋、永井、
四四	土屋☆
四七	安斎
五〇	小久保
五三	三品☆
五四	篠
五五	高野
五六	川元☆、川窪
五七	山本(正)☆
五九	佐々木
六一	野山
六一	新井☆
六三	吉田☆
六三	早武☆
③④	高橋☆

岡村喬生さんが ミステリードラマに出演!

赤川次郎作・NHK「ドラマスペシャル」

岡村さん(二九)の近況は次の通り。
四月二十一日(木)
NHK総合テレビ「夜十一時」
「ザッツ・ミュージック」出演
「オールマンリバー」を歌う。
【再放送】二十二日(金) 十七時
五月七日(土) 二十二時
〇時三十分

NHK/FMドラマスペシャル
赤川次郎作「ミステリードラマ」
「冬の旅人」出演
シューベルトの「冬の旅」を題材にしたドラマで、次々と起こる殺人事件を岡村さんがシャーロックホームズ役となって解決していく。ワトソン役は柳生博、その他河内桃子、宮崎美子が出演する。

ストックホルム・バッハ合唱団
指揮: アンデシュ・オルワル
5月10日(火) 7:00p.m./5月11日(水) 7:00p.m.
サントリーホール
S-4,500 A-3,800 B-3,000
〈朝日メイトS-3,900 A-3,200 B-2,400 同時入会申込み可〉
主催/朝日友の会(03)545-9348 神原音楽事務所(03)403-8011P 〒107 東京都港区赤坂9-2-14-101
後援/スウェーデン大使館 朝日新聞社 全日本合唱連盟
チケット発売所 03(237)9990 チケットセンター 03(980)9990 CN21プレイガイド03(258)7000

四月十九日(火) 第一回採寸
——稲グリユニフォーム
担当 堀内心統(むねのり 五五)
新たに稲グリユニフォームを作る方の申込み受けを練習場で行っています。申込書に必要事項を記入の上、堀内にお渡し下さい。第一回の採寸は五月十九日の練習日です。第二回は六月七日(火)の練習費用二万円。六月一杯で出来る予定です。

ご案内
左記は、ワグネルOBからのたつての要請があり掲載しました。よろしく願います。(編集局)

即席混声演奏に黒山の人垣!
今年も大成功の「お花見会」

四月に入ってから雪に見舞われるなど、正に三寒四温の日々が続く中、桜楓・稲グリ有志による恒例の「お花見会」が九日(土)大橋区民会館での混声曲初顔合わせの練習後、千鳥ヶ淵公園の満開の桜の下に場所を移して開催された。今年も過去最多参加の昨年にわずかに一名及ばぬ二十六名(桜楓七名、稲グリ十九名)となかなかの盛況。初登場組も十名近い。道路の端々には前日の雪が残りやや肌寒いとは言え、花を見るにつけ春の到来が感じられた。今年も豊富な酒量、豪華な弁当、応援歌、愛唱歌、六大学校歌メドレー等のかましましで予定通り周りを圧倒。一時は通行人が立ち止まり人垣が出来一幕も。九時前に無事お開きとなり、それぞれ二次会に散って行った。



港の話し
W:総工費六十億七千七百七十万円、工期三十四か月。エジプトの首都カイロの中心地に、日本政府の無償資金援助で建設されていたオペラハウス(エジプト教育文化センター)が完成、三十日夜、在留邦人による「お花見会」が行われた。

W:近代的なオプティオや照明施設の整った大ホールに小ホール、野外劇場などをあわせもつ新しいエジプトの文化の殿堂。三十一日、正式にエジプト政府に引き渡されるのを前に、施工主・鹿島建設の肝いりで日本人居住者による小音楽会の運びとなったもの。

W:「花」(滝廉太郎作曲)などホピラーな曲の混声合唱に続いて、早大グリークラブで囀らした長沢護・鹿島建設エジプト営業所長の独唱、カイロ在住のピアノリスト名嘉山順子さんの独奏。最後には、六十億円のカラオケで各社の駐在員たちが自慢の声を披露した。十月十日の本番のこけら落としには、歌舞伎が公演されるという。
(カイロ・高木特派員)

読売新聞(夕)(63.3.31)

ご冥福をお祈りします

三月二十二日の稲グリの練習の時、玉崎君(二七)との話の中で福原君(一六)のことが出た。家に帰って夕刊を見たら彼の訃報が載っていた。このあいだの超OB会への返信では、入院中のため欠席ということだったが、こんなに病気が重かったとは知らなかった。彼は、中学を出ると音楽学校に進みたかったが、家では大反対でやむを得ず早稲田に入学、法学部に在籍しながら家には隠して音楽学校に通った。だから当時の早大合唱部では、われわれ素人とは違い既にプロで私などは随分しごかれたものだ。野尻湖の合宿では、彼が一人湖畔でオペラのバリトンのアリアを歌

渡邊紫郎實(一六)

っていたのを思い出す。大分前にNHKの「歌のメロイ」で彼が出演したおり、ディレクターが彼の息子で「渡邊さん、福原です。おやじから伺っています。と声をかけられた時は、本当に驚いたものだ。彼の生涯が功なり名遂げたものだったとは言え、古い友人の訃報を聞くのは悲しい。謹んで冥福を祈る。



本物の新聞に載った人



日経産業新聞
(63.3.25)

毎週三日は夜、合唱や指揮の練習でつづれる。火曜は稲門グリークラブ、水曜は日産の東京コーラス部をそれぞれ指揮し、金曜は東京交響楽団 山本 正洋さん(29)



狙った音出ればサイコー!

「消になる」と願う。OBの方が多し稲グリクラブの合唱を巧みにまとめてあげる。二指揮棒のふり方を上手にみせ、的を射た指揮をする。早大グリークラブの昭和五十六年度の学生指揮者。この年、同クラブの合唱曲が入ったレコードが相次いで四枚発売され、「近年の黄金時代を築いた」と先輩からの評価も高い。小柄、真顔ながら先輩(日産自動車商品企画室 主事)

(三月二十二日(火)朝日新聞夕刊)

福原 信夫氏(ふくはら のぶ)お東京音楽大学長・オペラ史)二十二日午前四時五十分、胃がんのため、東京都千代田区の三井記念病院で死去、七十歳。葬儀・告別式は二十五日午後一時から中央区築地の本願寺第二伝導会館で。喪主は妻泰子(やすこ)さん。自宅は杉並区下高井戸三ノ三三〇二二。 広島市生まれ。早大、東洋音楽学校(現東京音大)を卒業後、NHKに入り第一音楽部長などを歴任。四十五年の万国博覧会ではクラシック催し物のプロデューサーを担当。四十八年、東京音大教授、東京芸術大講師となり、昨年四月から学長。専攻はオペラを中心にした西洋音楽史で、文化交流の実績により五十年にイタリヤ、グラन्दウフィチア、イタリア、グラन्दウフィチア文化大功劳勲章を受けた。

編集後記

三月十五日の練習後、さつそうと庄や八向が軽いことに気付く。瞬間、顔面蒼白。背広を忘れた！練習場の後ろのピアノの上だけ。セーターの上にコートを着ただけ。心は逆に重くなつた。翌日は東混の事務所に電話を入れ、仕事もそこそこに二日続けて練習場へ向かう羽目に。この練習場を使うことと三年半にして私が犯した最大のミスでした。恥ずかしいやら情けないやら。 四月二日(土)加藤幹事長が現役の練習場に。当日はちょうど九州特ステの練習日で、共演の岡村喬生先輩(二九)も懐かしいお仲間。その雄姿を見せるのと、幹事長は岡村さんとの打ち合わせも兼ね、現役グリーの視察と激励に行つた。恰好、練習後は現役の三瓶部長ら数人がこの両大先輩に連れられ懇親の杯を交わしたことは言うまでもない。場所は「浜力」を想像するに多くの説教、いや、激励を受けたことだろう。現役諸君、昔から言うのではないが、「良薬口に苦し」と。先達の教えに素直に耳を傾け、大いにこれからの飛躍の糧とするのだよ。……と、普段近くにいながらまいち自覚が薄い現役担当マネ氏が言つていました。一現役グリー近況の項に書き忘れたのでせめて「編集後記」に載せてくれ、と彼が泣きついて来たのです。(S) ■今回は練習日やお花見の日を避け、はたまた編集子二名のプライベートな予定のある週末を避け……という事で本日四月十日(日)……とあと十分で十一日になるが……に全てを賭けてのトンカン工事でした。万一、誤字や脱字があつても暖かい春風に免じて許して下さいませ。(E)